

詩を味わおう

めあて

たとえの表現に注意して、短詩のおもしろさを味わおう。

Aの詩

「ここには、ねぎぼつず」みすかみかすよ
の詩を拡大して提示する。その際、**地底**
ロケットの部分カードなどで隠しておく。

ねぎぼつず
絵や写真

・ねぎぼつずの形・・・打ち上げられた「ロケット」のよう
・地面「ではなく」地底「・・・奥底から勢いよく上がる感じ
短い詩の中に、なるほどと思える表現がある。

Bの詩

「ここには、ケムシ・」(まど・みちお)
の詩を拡大して提示する。その際、題名「ケ
ムシ・」の部分カードなどで隠しておく。

ケムシ
絵や写真

・さんぱつはきらい・・・毛を切られるのがきらいなのだろつ。
毛がたくさん生えている生き物だろつ。
なぜそう思ったのか理由をいろいろ想像することが出来る。

他の作品

「ここには、」動物いろ
いろ「)まど・みちお)
の詩を提示する

「ここには、」すいぞく
かん「)夢虹二「)の詩を
提示する

たとえの表現を使った詩はおもしろい。

四つの詩に共通する短詩のおもしろさ

短い言葉の中になるほどと思える表現があ
る。
なぞ解きになっている。
そのもの持ちょうをたどっている。
そのものの「願い」を想像して書いている。



短詩を作ってみよう。
作った詩をお互いに
紹介し合おう！

1 / 3 時間目 指導略案 使用するワークシート...

活動のねらい

なぞ解き、比喩などの表現に注意して短詩のおもしろさを味わうことがで
きるようにする。

1 学習のめあてをもつ。

いくつかの短詩の題名あてクイズを通して、比喩表現に気付く。

(例) 色とりどりの秋の絵はがき **おちば**

学習のめあてと見通しをもつ。

比喩表現を使った短詩を学習することを通して、詩のおもしろさを見付けるといふめあて
をもたせる。

2 「ねぎぼつず」の詩を鑑賞する。(Aの詩)

【発問】ねぎぼつずのことを、作者は詩にどのように表現したのでしょつ。

「」から「打ちあげられた」の言葉を手掛かりに考えましょつ。

に言葉を入れて、その理由を話し合つ。

「地面から」と「地底から」のイメージの違いを考えろ。

たとえの表現(比喩表現)が使われていることに気付く。

3 「ケムシ・」の詩を鑑賞する。(Bの詩)

「さんぱつ」の意味を確認し、叙述から想像をふくらませて、題名を考える。

考えた題名とその理由を話し合つ。

4 他の短詩の題名を考える。

まど・みちおや夢虹二「)ゆめこつじ「)などの短詩を提示し、詩の中の言葉から
想像をふくらませて題名を考えさせる。

5 短詩のおもしろさをまとめ、次時への見通しをもつ。

四つの短詩に共通する表現上の特徴を話し合ひ、学習したことをまとめる。

次時に学習することについて話し合ひ、見通しをもつ。

・詩の創作(詩の書き方) ・音読して聞き合つ(音読の工夫)

評価1 比喩、反復、なぞ解きなどの表現を楽しみ、想像して味わっている。
評価2 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。

学習のめあて

1 にあてはまる言葉を想像して、Aの詩の題と全文を書きましよう。

A

その言葉を選んだ理由

感想

2 にあてはまる言葉を想像して、Bの詩の題と全文を書きましよう。

B

その言葉を選んだ理由

感想

3 短詩のおもしろさをまとめましよう。

4 次時学習すること

今日の学習をふり返りましよう

できた

だいたいできた

もう少し

たとえの表現に注意して、短詩のおもしろさを味わうことができましたか。

(学習の感想)

詩を味わおう

めあて

読み取った作品のよさや自分の感想が相手に伝わるように音読を工夫しよう。

Cの詩

「こには、「耳」(ジャン・コクトー)の詩を拡大して提示する。その際、海の響きの部分をカードなどで隠しておく。

巻き目

絵や写真

私の耳は貝の殻 海の音が聞こえるよう

海の響き 耳に聞こえる波の音。よいんがある。

なつかしむ 以前行った海のことを思い出している。

音読：なつかしむ、響いてくるように：ゆっくり語尾の調子を下げて。

海の響きが聞こえてくるように：静かな声で間を取りながら読む。

Dの詩

「こには、「蝶」(ジュール・ルナール)の詩を拡大して提示する。その際、題名の部分をカードなどで隠しておく。

二つ折りの恋文 ゆらすとちょうが飛んでいるように見える。

花の番地 手紙を届ける住所は、ちょうが好きな花。

ラブレターが好きな人のもとに届くように。

捜している 好きな人を捜すように、花のみつを捜している。

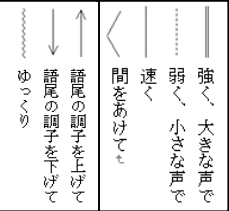
音読：うれしそうに：明るく、高めの声で読む。語尾の調子は下げない。

てれるように：秘密にしたいので、間を取って、ささやくように読む。

短詩に込められた思いを聞き手に伝えるには：

音読の工夫を表す記号

文章を読んで思ったことや考えたことが伝わるように、声の大きさ、声の質や速さ、間の取り方などを工夫して音読しよう。



2 / 3時間目 指導略案 使用するワークシート…
活動のねらい

比喩表現の叙述から想像を膨らませて、表現のよさを味わい、工夫して音読することができるようになる。

1 学習のめあてを確認する。

詩の中の言葉に着目して想像を膨らませたことを、工夫して音読に表現することを確認する。

2 「耳」の詩を鑑賞する。(Cの詩)

【発問】なぜ「私の耳」は「貝の殻」なのでしょう。その理由を考えましょう。

「私の耳」は「貝の殻」である理由をワークに書いて発表する。

「私の耳」がなつかしむのは何か、なぜ「音」ではなく「響き」なのか、その理由を考え、意見を交流する。

作品のよさや感想を音読にどのように表現するのかを考えて意見を交流する。

3 「蝶」の詩を鑑賞する。(Dの詩)

本文を読んで、題名を考え、その理由を書いて発表する。

「二つ折りの恋文」や「花の番地」など二つ二つの言葉を取り上げて、想像できることを述べ合い、音読の工夫について、意見を交流する。

考えが出ないときには、二つ折りの紙を動かし、その動きから蝶をイメージさせ、比喩表現であることに気付かせる。

4 二つの詩から好きなほうを選び、音読する。

作品のよさや感想を聞き手に伝える音読の工夫をまとめ、記号を確認する。音読の工夫の記号を詩の行間に書き入れ、音読の練習をする。

グループや全体で詩の音読を聞き合い、表現を味わう。

5 音読の感想を交流する。

「明るく読む」「少し照れるように読む」「秘密なので、ささやくように読む」「共通しているところは、うれしい気持ち」「など、一人一人の解釈の違うところや同じところを視点にして感想を交流させ、詩の表現を味わわせる。

評価 比喩表現の叙述から想像を膨らませて、短詩に込められた思いを読み取り、工夫して音読している。

学習のめあて

1 CとDの詩の工夫やよさについて考えましょう。

にあってはまる言葉を想像して、CとDの詩の題名と全文を書きましょ。

C

なぜ「私の耳」「は」貝の殻か「なのでしょう。

D

「二つ折りの恋文」とは何でしょう。

「私の耳」「は」何を「なつかしむ」のでしょ。

何を

「花の番地をさがしている」とは何でしょう。

花の番地








なぜひびきなのか

さがしている

2 作品のよさや自分の考えが伝わる

ように工夫して音読ましょ。

好きな詩を選んで、下の音読の工夫の記号を、詩の行間に書き入れて、音読ましょ。

   	  
<p>強く、大きな声で 弱く、小さな声で はっきりと、速く 間をあげる</p>	<p>語尾の調子を上げて<small>び</small> 語尾の調子を下げ ゆっく</p>

今日の学習をふり返りましょ

できた

だいたいできた

もう少し

言葉に着目して、情景や作品にこめられた思いを想像し、音読に表現することができましたか。

(学習の感想)

詩を味わおう

めあて

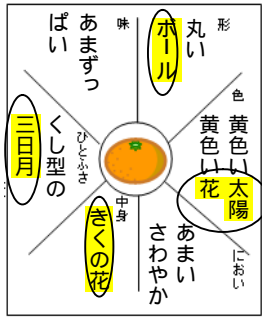
野菜や果物の持ちようをたとえて、短詩を書く。

短詩のおもしろさを生かして書く

短い言葉でリズムよく表現しよう。
 なぞ解きになるように書く。
 そのもの持ちようをたとえて書く。
 そのものの「願い」を想像して書く。



丸くてつるつる赤い太陽
 もつすく落ちそうな赤い太陽



みかんのとくちょうやたとえのメモ

みかんをたとえた短詩

「ここには、「みかん」(草野心平)の詩を拡大して提示する。
 その際、**きくのはな**、**みかつき**の部分を実線で囲んでおく。

作った詩を読み合おう

児童が作った詩

児童が作った詩

児童が作った詩

短詩を作って、学習したこと

持ちようをとらえて想像をふくらませ、たとえの表現を使うことで、見方や考え方を深め、味わい深い短詩を書くことができる。

持ちようを見つけ、たとえてみよう

- 形、色、中身、におい、味
- さわった感じ
- 実がなっている状態
- イメージするものにとえてみよう

詩「みかん」の表現の工夫

- たとえの表現
きくのはな・みかつき
- くり返しのリズム
きいろい(三回)
- 短い表現
名詞で止める
- 改行
かいぎょう

3 / 3 時間目 指導略案 使用するワークシート…
 活動のねらい

1 学習のめあてを確認する。

2 野菜や果物を題材にした詩の題名をたとえの言葉から想像させ、出来上がりのイメージや創作への意欲をもたせる。

3 【発問】みかんの色や形、においなどの特徴と、その特徴は何にたとえられるかを想像して、メモに書き込みましょう。

4 みかんの例に、形や色などの特徴をとらえて、**比喩表現**を楽しむ。

5 みかんの実物を用意し、色や形ばかりでなく、**においや感触**、皮をむいた形やひとふさの形など、さまざまな視点から考えさせる。

メモに集めた言葉を使って、詩を創作する方法を考える。

6 草野心平作「みかん」を例に、詩の基本的な特徴である**改行形式**、**くり返しのリズム**、**比喩表現**などの詩の表現を押さえる。

7 メモに言葉を集め、短詩を創作する。

8 持参した野菜や果物の特徴を見つけ、イメージするものにとえて、表現メモに集める。

メモの中から短詩に生かしたい表現を選ぶ。

9 言葉を吟味しながら、**比喩表現**を生かして短詩を創作する。

10 創作した短詩を鑑賞する。

11 ペアで交換して読み合い、**比喩表現**のよさについて感想を交流する。

12 全体にいくつかの短詩を紹介し、題名を考えたり鑑賞したりする。

13 学習のまとめをする。

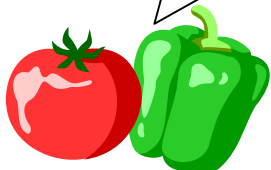
14 比喩表現が様々であることに気付かせ、表現のおもしろさを味わわせる。

15 評価 比喩や反復などの技法を用いて、短詩を書いている。

学習のめあて

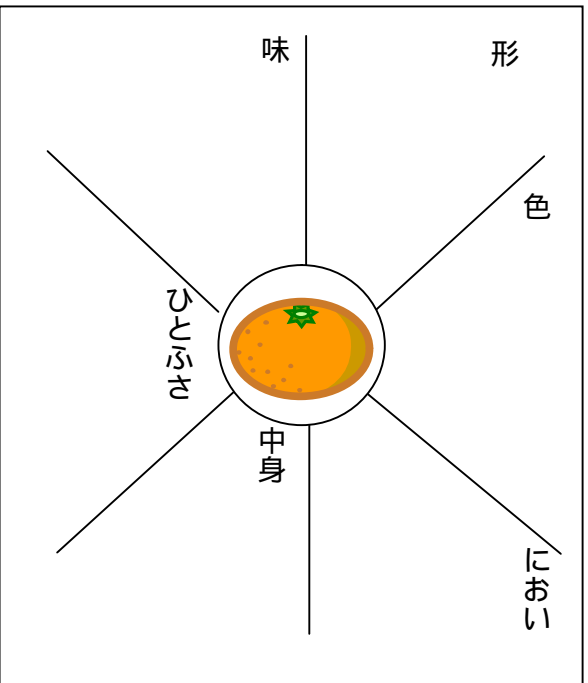
短い言葉でリズムよく表現しよう。
なぞ解きになるように書こう。
そのもの「特ちょう」をたとえて書こう。
そのものの「願い」を想像して書こう。

野菜や果物をよく見つめ、
形、色、中身、におい、さわった感じ、
実がなっている状態、味などの
特ちょうを見つけ、想像し、
言葉にたとえて表現しよう！



特ちょうを見つけ、言葉にたとえて表現しよう！

特ちょうやたとえの表現メモ（みかん）



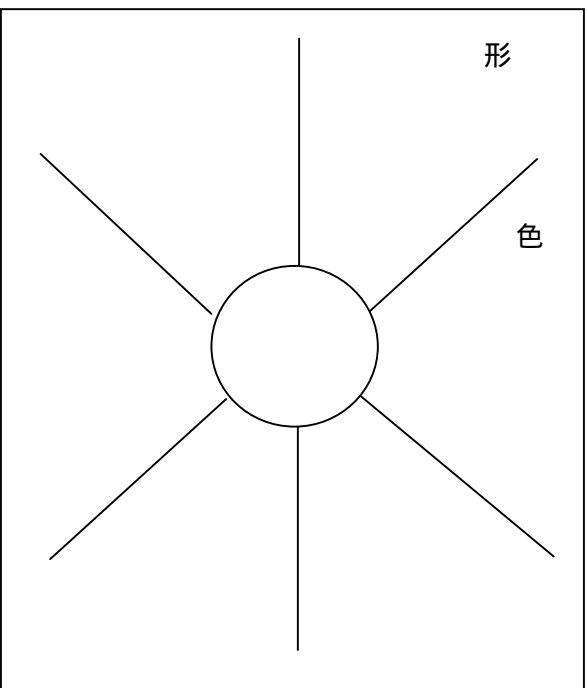
たとえの表現を で囲みましょう。

作者

題

本文

特ちょうやたとえの表現メモ（ ）



たとえの表現を で囲みましょう。

作者

題

本文

今日の学習を振り返りましょう

できた

だいたいできた

もう少し

野菜や果物の特ちょうをたとえ、言葉を選んで、詩を書くことができましたか。

（学習の感想）